

# 「那賀川・桑野川の水害と危機対応」

主催：自主防災 横見町をきれいにする会、横見教育集会所

那賀川河川事務所と阿南市危機管理課は、自主防災 横見町をきれいにする会の  
お招きにより 6月20日(火)に出前講座を行いました。



**那賀川の河運の変遷と治水対策の歴史**

那賀川水系の流域  
 ◆流域内である温泉は温泉、その湯も温泉保養地帯の熱山温泉(700m)に集り、湯も温泉保養地帯の熱山温泉(700m)に集り、湯も温泉保養地帯の熱山温泉(700m)に集り...

河運の変遷と治水対策の歴史  
 ◆那賀川下流域  
 1300年頃、那賀川は自給自足時代、瀬田・長門・尾道・津和野・萩・門司・博多・熊本・鹿児島へと運ばれた。近年の山陰に建設されたダム、ダムによる治水対策の結果、河運の需要は激減した。河運の需要は激減した。河運の需要は激減した。

那賀川の変遷に始まり治水対策の歴史、近年の治水対策や洪水被害、洪水対応、想定最大規模の浸水想定区域図、ダムによる洪水調整、水防災意識社会の再構築などについてお聞きいただきました。



**近年の治水対策**

根幹的な堤防の整備・堤防の浸透対策  
 ◆堤防の整備 浸透対策 堤防の高さを20cm(平均20年8月公表)  
 ◆堤防の浸透対策 浸透対策 堤防の高さを20cm(平均20年8月公表)

よる洪水調節  
 ◆ダム改造事業の概要  
 ダム改造事業の概要



また、過去の災害の教訓から自助・共助・公助のありかた、洪水・地震津波時の早急な避難の重要性に加え、被災直後から数日間の水・食料の家庭備蓄も重要であることを再認識していただくよう呼びかけました。

会の終わりには、参加者から堤防整備や河川改修、洪水時の対応や長安口ダム改造工事、災害時の避難などについて、活発に質疑と意見が述べられました。様々な声をいただき、説明者側においても治水利水と防災、環境について使命感を新たにしました。

今回の出前講座が、地元の皆様の危機管理意識向上につながるよう期待いたします。